

水が出て当たり前を続けるには

Hr2550角野

2019-09-15

目次

- 1.水道の概要
- 2.水道事業の課題点
- 3.コンセッション方式（PFI方式）とは
- 4.2018年の水道法改正
- 5.デメリットとしての反対意見
- 6.まとめ
- 7.参考文献

1. 水道の概要

1886年 コレラが大流行→上水路の汚染や木樋の腐朽が原因

1887年10月 横浜で近代水道が通水

1890年 「水道条例」を制定（横浜、函館、長崎、大阪、東京で近代水道が整備された

1958年時点で普及率は約41%であったが、現在は約98%
[橋本19]

上水道：蛇口から出る水のこと
水道水が飲料可能なのは15か国しかない

下水道：使い終わった上水や雨水・汚水の通り道の総称のこと

- ①汚水やドレン排水
- ②雑排水（洗濯機や台所、風呂水のこと）
- ③雨水

2. 水道事業の課題点 [橋本19] [尾林19]

現状

水道事業は市町村経営が原則であるために以下の課題に直面している

①人口減少社会の到来

…2065年には人口が8,800万人になると予想されており、1人当たりの水道用量が減り水を使わない社会になっていく

②水道の老朽化

…老朽した水道管の破裂事故は、毎年1,000件を超え、災害時に断水が発生した際の復旧にも膨大な費用がかかる

③水道職員の減少

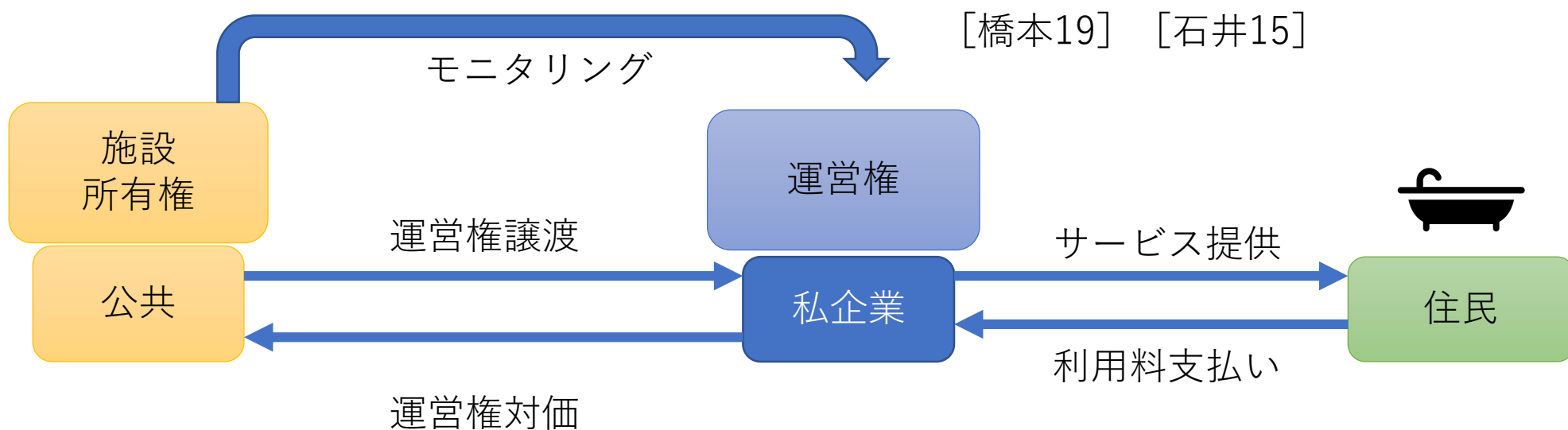
…成員の削減や団塊世代の退職などにより30年前に比べ3割減少
中小規模の事業所は高齢化が進む



これらの現状を解決するためには官民連携で運営権を民間に委託していき行政の費用を軽減していく必要がある

3. コンセッション方式（PFI方式）とは

- ・ 利用料金の徴収を行う公共施設について、公共が施設を保持したまま、既存の施設の運営権を民間に委譲し、民間は維持管理や運営を包括的に行えるようにすること
- ・ 民間事業者による安定的で自由度の高い運営が可能となり、利用者のニーズを反映し質の高いサービスを提供することが可能となる。
- ・ PFIは上下水道、空港、道路等を重点分野に据え置き、コンセッション事業の導入を推進している(ex)関西国際空港、仙台空港、愛知県道路、



4. 2018年の水道法改正 [橋本19]

広域化の推進

- 老朽化した浄水場や水道管を企業と一体的に運営すること

官民連携の推進

- コンセッション方式を利用し民間に運営権を譲渡すること

5. デメリットとしての反対意見 [内田19]

①水道料金が値上げしてしまう

②水質が落ちる可能性がある

③海外の企業も参入できる

人口の少ない
地域だと赤字
経営になる可
能性が高く①、
②のようにな
ってしまう

6. まとめ

- 今現在、水道を取り巻く環境は大変厳しい。有収水量は減少し、施設の老朽化は進み、水道職員は減少している。[尾林19]
- こうした課題はまだ認知されておらず、コンセプション方式という水道事業では行ったことがない取り組みをすることで持続可能な水の供給をつなげることが可能だと思う。下水道に限ると浜松市ではすでに行われており、全国にこのやり方を広めていく必要があると思う。

7. 参考文献

- [橋本19]橋本淳司、水道民営化で水はどうなるのか、岩波ブックレット、2019-06-06
- [尾林19]尾林芳匡、水道の民営化・広域化を考える、自治体研究社、2019-02-05
- [石井15]石井晴夫、水道事業経営の基本、白桃書房、2015-12-05
- [内田19]内田聖子、周回遅れで進む日本の水道民営化、日本共産党中央委員会理論政治誌(974),2019-05,pp97~105
- 株式会社ジャパンウォーター、解説！「コンセッション方式」×「水道事業」、閲覧日2019-09-14<https://www.japanwater.co.jp/concession/>